

風の子



風の子は、発達に心配がある小学生のお子さんを対象に、放課後や夏休みなどの居場所として、余暇活動の機会を提供します。友達と楽しく過ごしながらか、遊びや創作活動などを通して療育の機会を提供し、生活能力やコミュニケーション能力の向上、充実した地域生活が送れるよう支援します。

内容

- ・全身運動（サーキット、テクニカルラン、マットあそび、ロッククライミング、縄跳び など）
- ・感覚統合遊び（オーシャンスウィング、トランポリン、バランスボール、バランス平均台 など）
- ・リラックス（ボールプール、木の砂場、お花紙あそび、音楽あそび など）
- ・創作活動（自由画、工作、シール貼り、おりがみ、おやつ作り、ブロック など）
- ・季節あそび（プール、焼き芋、雪あそび、山菜採り、きのこ狩り など）
- ・小行事（お花見、七夕、クリスマス、だんご木、節分、ひな祭り など）
- ・コミュニケーション（すごろく、かるた、ジェンガ、ベイブレード、おもちゃ など）
- ・生活（食事、排泄、着脱、睡眠リズム など）
- ・その他（ご本人とご家族の要望に合わせた活動を行います）
- ・家族支援（研修会の開催、子育ての心配や不安がありましたらお気軽にご相談ください）

一日の流れ

日課（放課後）

14:00 迎え（支援学校限定）
 14:30 風の子到着
 排泄 荷物の整理
 活動（集団、グループ、個別）
 15:00 おやつ
 15:30 片づけ 排泄
 15:40 活動（集団）
 16:30 帰宅準備

日課（学校休業日）

9:00 机に向かう時間（宿題、迷路、パズル等）
 10:00 活動（集団、グループ、個別）
 11:30 排泄、水分補給、リラックスタイム
 昼食準備
 12:00 昼食
 12:30 片づけ、排泄
 12:45 活動（集団、グループ、個別）
 14:30 片づけ、排泄
 15:00 おやつ
 15:30 片づけ 排泄
 15:40 活動（集団）
 16:30 帰宅準備

ねらい

基本的な生活動作の習得や自立生活を支援するために、お子さんが意欲的に関わられるような、遊びや活動を提供します。そして、成長・発達のエネルギーとなる「成功体験の積み重ね」を大切に、自己肯定感・自己有能感を育てます。また、学校、家庭、地域と連携して、お子さんを支え、笑顔でリラックスできる環境を提供します。

スタッフ

管理者 1名 児童発達支援管理責任者 1名
 支援員 7名（内、社会福祉士1名 保育士2名）、非常勤3名（保育士3名）

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表 平成30年1月31日

事業所名

風の子

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			状況により個々のスペースも確保され、構造化されています
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化の配慮は十分されています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			活動前、活動後に打ち合わせ、振り返りを行っています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査は年2回実施しています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人研修、園内研修を実施しているほか、外部研修へも参加を促しています
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談や送迎時に情報共有を行い支援へつなげています
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		外部で使用したツールを個別支援計画に活用しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティング内で行われています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			興味の幅、個々のニーズに合わせて対応しています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			季節の応じた活動を多く取り入れています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々子どもたちの状況に合わせて個別での活動や、集団での活動を組み合わせていながら計画しています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日までの状況や前回利用時の様子などをもとに行っています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			気になった部分、感じた部分をもとに振り返りを行っています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々記録を取り、個別支援計画等に反映させています

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者との面談を行い、放課後等デイサービス計画の作成・評価を見直しています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			多様な活動を取り入れ、一人一人が達成感を十分得られる支援をしています
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管や担当職員が中心となり参画しています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる体制がありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			連携に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者の同意のもと必要に応じて行っています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内に児童発達支援センターがあるので連携しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	機会がありません
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に、保護者に対して丁寧に報告しています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			送迎時に提案をしたり、研修会などに参加していただき、情報提供しています
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時行っています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	自由に過ごしていただける部屋を準備しています

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			速やかに対応するよう心掛けています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	実施していません、今後検討していきたいと思っています
	35	個人情報に十分注意しているか	○			同意書を取り交わすなどして十分に注意をしています
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時に必ず直接会話をする場面を作っています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の方にご案内をしている同一法人内のお祭りに一緒に参加しています
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員への周知は徹底していますが、保護者には周知していません
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を行っています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内研修のなかで行われて、周知しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束が必要な利用者はいません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要な利用者には指示書に基づき個別に対応を行っています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例の共有を十分に行い危険についての認識を深めています